

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム隼人
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630-3 (電話) 0995-64-2520
自己評価作成日	平成29年3月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年3月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム隼人は今年の8月で開設14年目を迎えます。毎日入れる温泉(かけながし)や、緑豊かな地域に囲まれてご利用者様方日々を過ごされています。

天気のいい日には、ドライブ・散歩を兼ねて地域を散策したりと住み馴れた地域での生活が出来るように支援を行っております。

毎年恒例となりました地域行事として、地域交流(焼き肉)会、ちまき作り、今回は感染症が心配されましたが、対策予防を徹底して臨んだ餅つき、そば打ちを開催させていただき、無事終えることができました。

また、例え胃ろう造設になってもここで看てもらいたい。とご家族の希望でもありましたが、主治医や看護師等の協力も得て今年の1月より経管栄養の利用者様にも対応させていただいております。

霧島市ライフサポートワーカーも1月より3名で対応させていただくようになり、更に地域住民の相談窓口として取り組んでまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

閑静な住宅街にあるホームは地域との交流は活発で、地域交流会や餅つきには多くの参加があり、地区の公園の草刈りにも参加し貢献している。

法人の夏祭りへは地域住民の参加も多いが、管理者は今後は介護度が上がり自由な外出が出来なくなった利用者の為にも、ホーム独自の夏祭りを検討し、さらに地域との交流を図っている。

身体拘束をしないケアでの言葉使いに寄る拘束は以前はあったが、法人研修やホームでの勉強会などで職員の意識を高め、現在はなくなっている。「虐待の芽チェックリスト」を活用しケアの実情を把握し、安全を確保しながら利用者の自由な暮らしを思いやりある介護で支援している。

管理者は若い職員に、今いろいろと仕事を任せてみたりわからない事には助言するなどして育成に力を入れている。職員の離職率は低く長く働いている職員も多い、管理者の一生懸命な姿を見ながら職員間で話し合い助け合いながら、日々のケアに努めている。良好なチームワークは利用者への介護へも反映している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員一人一人が利用者様、ご家族、地域の方々と心を繋げ、関係を広げていけるように努めている。	法人の理念とは別にホームの理念があり、ユニット毎の年間の目標も掲げている。申し送り時やミーティング時には唱和し理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	四季折々の地域行事などに利用者様を一人でも多く参加して頂けるようにしている。	地域の行事へ参加したり地区の草取りに出向いたりしている。ホーム主催の年間行事へ地域の参加を得るなど双方で交流を図っている。また「まちかど相談所」として地域貢献している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ライフサポートワーカーが在籍してるまちかど相談所として、誰でも気軽に来苑できるようにしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に会議を行い、会議で出た意見を職員とその都度共有し、活かすように話し合っている。	2ヶ月毎に定例化された会議には家族・地域住民・行政が参加し、行事報告や意見・要望を聞き話しあっている。今後内容の見直しと家族の参加をもっと得るようにする事が課題となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	入所者様に変化があった時、福祉課など連絡し対応している。	行政からは運営推進会議に出席してもらっている。日頃から相談や市主催の研修会の案内をもらうなど連携が取れ、協力関係は築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月、事業所独自で勉強会やミーティングを開催し、それを通して学び常に自由で安心して過ごして頂ける環境を全員で話し合い取り組んでいる。	言葉による拘束の排除を含む身体拘束など職員は、毎月の会議や勉強会などで話し合い、十分な理解をもちケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠はされていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の芽チェックリストを活用し、日頃の生活の中でお互いに言葉使いや介護に対するの自覚を持ち、思いやりのある介護に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	アンケートや、行政からの指導内容、ニュース等を取り入れ、反省、注意等の学習している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>担当者（管理者・ユニットリーダー）が説明し利用者・家族の意向も聞き、納得していただき契約して頂く。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常の共同生活の中での利用者様の言葉や声に傾聴し責任者又、ご家族の方への報告を行いお互い不安のない生活をして頂けるよう努めている。</p>	<p>利用者とは日常会話を通じて意見や要望を把握するよう努めている。家族からは家族会や面会時、行事の際に話しやすい雰囲気作りに努めて意見を頂いている。出された意見要望は職員と話し合い運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>人事考課も必要ではありますが、就業の実態をグループホームに出向いて話し合いも必要でその都度、対応し管理者の方で改善している。</p>	<p>管理者は日々の申し送りや会議等を通じて職員の意見や要望の把握に努めている。出された意見や提案は業務改善やサービスの質の向上に反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>アンケートや、個々の面談により、管理者が指導している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月のグループホームでの勉強会や研修への参加が必ずあり、特に事例を上げての勉強会は、考えさせられる意味のあるものです。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市地域密着型連合会役員として外部研修に積極的に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族からの情報を得る。又、御本人との会話で状況を確認して、対応している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の不安をお尋ねし、ご家族と職員が一体となり一つずつ段階を踏む。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族の話聞き、御本人に対しての対応を職員同士やご家族とも話し合う。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>個々のレクリエーションや入浴など、お互いに声掛け合い自立を見守りながらできること、出来ないことを分かち合って生活しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族へ現状を報告しご家族と共に話し合いながら介護を行う。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にお尋ねし情報を聞き、時にはドライブなどを利用して、地域に出向かう。	地元からの入所者が多く、馴染みの友人・知人との関係継続ができています。個人的な訪問美容や地域の敬老会への参加もある。法事に列席してもらうなど馴染みの関係が途切れない支援が出来ています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員同士、分担しそれぞれ入所に孤立しないように対応している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	元入所者様家族と出会った時、声掛けています。また、在宅復帰された利用者様についても、担当ケアマネ、家族と連絡や情報交換をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常状況においては、買い物と一緒にいっている。お墓詣り等、希望があればその都度対応しています。	利用者一人ひとりの思いを聞いているが、困難な時には表情や家族からの情報を得て、利用者の思いや希望をくみ取り把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様との会話やご家族と話した内容の中でご本人の趣味や職業、今までの生活歴を通じて今の生活を共有している。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の健康状態や気分などを把握して、洗濯物や片付けや野菜切りなどを、手伝って頂く。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティング、毎日の申し送り意見を出し合って、共有、反映している。	本人・家族の意向や医療機関また関係者の意見もふまえた細かなプランの介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月、見直しは6か月毎とし何か変更があればその都度見直すなど、現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録、申し送りノートを通して、日々の活動状況を把握、共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の状況により、病院等送迎できることをお伝えしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散髪は地域の美容室から、来ていただく。（偶数月）		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御本人・家族の病院の選択を職員は把握しており、些細なことでも医師に相談し、いつでも、安心して頂けるよう支援を行っている。	本人希望のかかりつけ医となっているが、入居時にほとんどの利用者が協力医療機関を選択している。受診には職員が同行し家族には受診結果や内容報告をしている。歯科はその都度往診してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常に、看護師に入居者様の体調変化を伝え、指示に従う。時には提案も行っております。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時、できるだけ毎日洗濯物を取りに行く。面会・届けにいった際には、入居者様と会話する。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所説明の際は、重度化や終末期に向けた指針を家族に説明、アンケートを取り、その旨、主治医へ伝え家族と話し合う。又、家族の気持ちに変化にも、対応できるよう、看取りについても、定期的に聞き取りを行う。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの指針は作成しており入所時に家族に説明している。ホームで出来る最大限の支援を職員全員が共有している。今後は家族と意思確認の取り交わしを重視し、様式の内容を見直しする方向である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応を常に話あっている。心肺蘇生法・AEDについても事業所で研修を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>日勤、夜間帯を想定した、火災・災害・避難訓練や緊急に備えての連絡網の活用も行っている。</p>	<p>年間2回の昼夜間想定避難訓練や防災訓練をしている。自主訓練には地域住民も参加している。災害時用の備蓄も確保され、自動通報装置・スプリンクラーや避難用滑り台も設置されている。今後は地震対策も検討していく方向である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員との会話の中で利用者様に選択し、決定をお願いしている。言葉使いは、職員同士で注意して人格の尊重に努めている。	人格を尊重し日々のケアで利用者の尊厳やプライドを損ねるようにならない言葉かけや対応に努めている。利用者の自己決定を重んじるケアや対応に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で、御本人の希望や行動を職員みんなで共有できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	季節感を楽しんで頂けるような過ごし方を重視し御本人の希望に添えるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族との、外出や入浴後の身だしなみ等の支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べる事に、楽しみを持って頂けるよう食事やおやつなどの希望を取り入れている。嫌いな方には別メニューの対応も行っている。	家族が持参する旬の野菜、食材を活用し、利用者の好みを聞いて献立を作っている。個別の外食は家族が連れて行っている。季節の花見には弁当持参で、ソーメン流しへも行き食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人に合った、食事形態・飲み物は通りの良いゼリーなどを利用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを行う。うがいが出来ない方は、口腔ケアウティッティ、ジェルを使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	長時間トイレに行かれない方に、声掛けしている。入浴のない時には、清拭、洗浄している。	排泄チェック表の活用による、個々に応じた適時の声掛けでトイレでの排泄の自立に向けた支援に努めている。現在オムツの使用は無い、小まめな誘導により家族の負担軽減に繋がっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	冷たい牛乳、芋、水分を多目に、飲んで頂く。それでも困難時には医師に相談する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の声掛けした時、断られたときには、時間をずらしたり、翌日に入浴していただく。	基本的には週3回であるが、希望があれば毎日でも、利用者の体調や希望に添った入浴が出来るよう、ホーム独自の天然温泉にゆったりと安心して入浴を楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じて、自室で休んで頂き、日中（お茶時）時間を見てリビングへ出て頂く。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様、職員2名と確認を行い最後まで、見守る。副作用の症状が出た場合、すぐに主治医へ相談する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の雑談・レクレーション・散歩等を行っている。誕生日・行事等にはプレゼントを行っている。（母の日・父の日・クリスマス）		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員を確保し、天気の良い日ひは、ドライブ、初詣、畑（散歩）に出向いている。	日常的には、近隣への散歩やドライブ・買い物、また近隣のボランティアの方との中庭でのお茶会も開催している。家族の協力で墓参りや外食・外泊にも出かけている。年間計画にも外出は組まれている。ホームに閉じ困らない生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の了解を得ながら夏祭りの際の出店で好きなものを買ったり、自動販売機で好きな飲み物を買ってもらう。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族、御本人の希望によっては、本人所持の携帯や事業所の電話を使用して連絡していただく。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花（季節の物）等を生ける。又、季節の花の塗り絵を貼る。気候に応じて換気を行う。</p>	<p>2階からの遠景はすばらしく夜景は特に素晴らしいと来所された方の声である。24時間かけ流しの天然温泉もあり、利用者は好きな時間に入浴出来る。リビングには文化祭の出品作品や手作り作品、また季節の香りの花が活けてあり、居心地よく過ごせる工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>会話をしたり畳の所でひなたぼっこしていただいたり、レクレーションに参加する。時には、席替え等気分転換をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内で安心して過ごせるように家族写真等貼る。塗り絵された物や行事写真・季節のカレンダーを貼る。	利用者の使い慣れた寝具・時計・家具が置いてある。壁には写真や手作り作品を飾ってある。家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、本人が居心地よく安心・安全に過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車イスの方や、歩行できる方に安全に生活できるようにつとめている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない